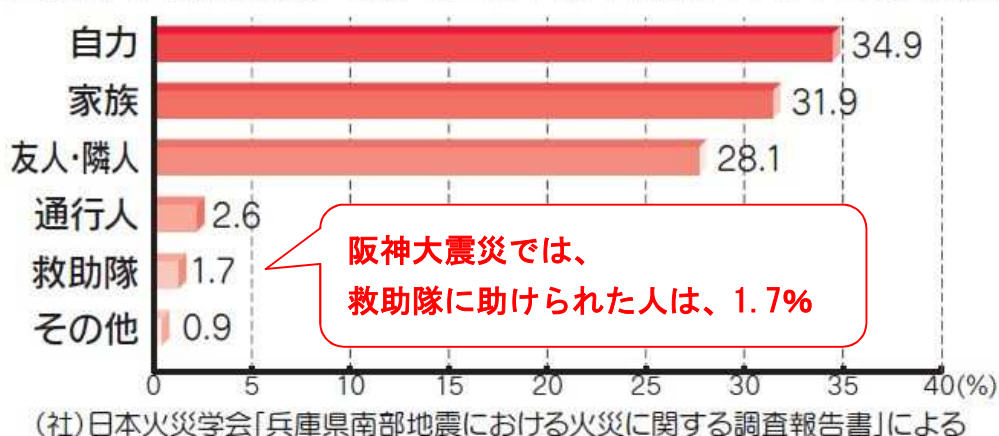


自助・・・自らの命は自ら守る！

「助けられる側」になるのではなく、「**助ける側**」になること。そして、大人も子どもも協力して助け合うことで被害は縮小します。大切な命を守ってくれるのは・・・「**自助**」と「**近助・互助**」です。

■阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助



大きな地震では、**道路も倒壊家屋で通行できなくなります**。また、救急車の要請も多くなるため、消防が対応するにも限界があります。

阪神・淡路大震災では、救助者の約95%が自力、家族または友人近隣に救助されました。公助である救助隊による救助は、わずか1.7%でした。



災害写真データベース から

命をつないでくれるのはコミュニティ

災害時に欠くことのできない地域のつながりは、地域における環境整備や草刈り、また祭礼等々、日々の地域の活動の中で培われるものです。

次回は、情報収集についてお知らせいたします。